

広報



特 集

さらなるごみの減量化と資源化に向けて…… P2～5

トピックス	P6～7
旬彩レシピ／朝イチnavi	P8
第2回市議会定例会	P13
市民提案型まちづくり事業 10 団体を採択 ...	P14～15
まちの話題	P20～21
みんなの学び舎／部活がんばってます	P23

【笠石の滝（小妻町）】

平成 26 年 (2014)

7

月号

No.632

特集

さらなるごみの減量化と 資源化に向けて

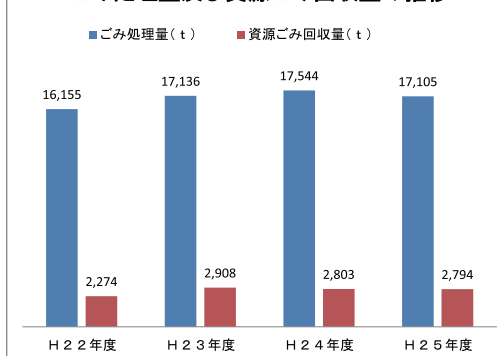


市清掃センターでの小型家電の再分別作業



回収されたペットボトルの圧縮作業

ごみ処理量及び資源ごみ回収量の推移



現状と課題

市では、ごみの排出量の削減と再資源化を進めるために、平成24年8月1日から資源ごみ回収の無料化と23分別を始めました。

平成25年度に回収された資源ごみの量は2794トンであり、震災前の平成22年度と比較して520トン増加しており、ごみの排出時に資源物を分別する意識が高まりつつあります。しかし、家庭や事業所から出る燃やすごみの中には、まだまだ資源となるごみが混在しています。



収集された燃やすごみのうち、ごみ全体の23%を紙類が、14%を布類が占めていました。さらにごみの減量化・資源化を進める必要があります。エコリサイクルを進めて環境にやさしい街をつくりましょう。



小型家電のリサイクルを始めました

4月から、携帯電話などに使われているレアメタルなどの貴重な資源を回収し、有効活用するため「小型家電リサイクル」を実施しています。

ボックス回収 (市役所本庁・支所などの箱で回収)

○ボックス設置場所

市役所本庁・金砂郷支所・水府支所・里美支所・生涯学習センターのロビーまたは玄関口に設置

○回収する小型家電 (13 品目)

携帯電話・PHS・デジタルカメラ・ビデオカメラ・カーナビ・電子辞書 (電子手帳)・携帯用音楽プレーヤー・電卓・据置型ゲーム機・携帯型ゲーム機・リモコン・腕時計 (電子式)・ACアダプタ



回収ボックス



回収する小型家電等

ピックアップ回収 (通常のごみ集積所で回収)

○回収する小型家電 (56 品目)

ボックス回収する 13 品目および電気ポット・炊飯器・電話機・ヘアドライヤー・パソコン (ブラウン管型を除く) などこれまで「その他の金属類」で出していたほとんどの小型家電が対象となります。

○回収方法

資源物・燃えないごみの収集日に、回収する小型家電 (56 品目) を出してください。

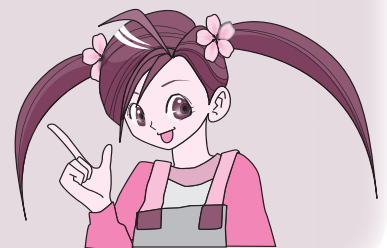
※ピックアップ回収とは、資源物・燃えないごみで回収されたごみを清掃センターで再分別することをいいます。



専用工具 (携帯パンチ)

check!

個人情報が記録されている小型家電は、個人情報データを事前に必ず消去した上で出してください。また、携帯電話に記録されている個人情報を消去する専用工具 (携帯パンチ) を市役所等に設置していますので、ご利用の際は、回収ボックス近くの窓口にお声かけください。



資源として
品質A判定

ペットボトルをきれいに出していただきありがとうございます

平成 25 年度の資源ごみとして回収したペットボトルの品質検査が行われ、総合評価で本市が最高ランクの A 判定をいただきました。この検査は、年に 1 度品質検査が行われ、判定結果によって、(財)日本容器包装リサイクル協会から市に支払われる拠出金に影響します。

皆様のご協力により効率的なリサイクルを行うことができました。平成 25 年度の回収したペットボトルの売払量は 73 トンとなり、平成 24 年度より 6 トン増加しました。

※拠出金：ペットボトルリサイクルの取りまとめを行っている (財) 日本容器包装リサイクル協会から市に支払われるお金です。金額は、検査結果によって変動し、きれいで異物混入がないほど、市が受け取る金額は高くなります。

【その他の紙類】の分別と搬出をお願いします

資源物・燃えないごみの収集日に搬出する紙類で、新聞・ちらし、雑誌類、ダンボール、紙パック以外の【その他の紙類】もリサイクルすることができます。

その他の紙類

- ◆菓子やカレー、チーズ等の箱 ◆ティッシュペーパーの箱 ◆包装紙 ◆封筒・はがき
- ◆トイレットペーパーやラップの芯 ◆カレンダー・ポスター等

燃やすごみ

※  マークがついていても、燃やすごみとして出してください。

- ◆汚れた紙類（食品や油が付着したものなど）
- ◆石けん・洗剤・線香の箱など臭いのついた紙
- ◆アイスクリーム・ヨーグルト・カップラーメン・紙コップ・缶ビールの6缶パックの紙などの防水加工等がされている紙
- ◆酒やジュースの紙パックで、内側がアルミコーティング（銀色等）されている紙
- ◆レシート・ファクシミリ用紙などの感熱紙等

その他の紙類のまとめ方と搬出

- ◆「その他の紙類収納袋」は、買い物の際お店からもらった紙袋等をご利用ください。
- ◆収納袋は、お菓子やティッシュの箱等を入れるのにもとても便利です。
- ◆資源ごみ収集日には、「その他の紙類収納袋」ごとお出してください。



生ごみの水切りにご協力ください

生ごみの約80%は水分です。特に、夏場は、水分を多く含んだ「燃やすごみ」が多くなります。生ごみの水分は、悪臭や腐敗の原因になりますのでしっかり水切りをし、ごみ減量化を図りましょう。

3つのポイント



水に濡らさないように
しましょう



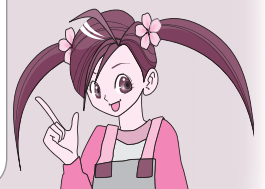
水を切りましょう



キュッと絞りましょう

check!

水切りをすると嫌なにおいが減り、しかも軽くなり、ごみ出しが楽になりますよ



エコライフを応援しています

市では、環境にやさしいまちづくりを推進するため、家庭における太陽光発電システム・高効率給湯器の設置費や生ごみ処理容器設置費の一部を補助しています。

太陽光発電システム・高効率給湯器の設置費の一部を補助

◆対象者

- 市内居住（予定含む）の方
- 住宅に設置する方（工事着工の7日前までに要申請）。または、設置してある建売住宅を購入予定の方（居住開始の7日前までに要申請）など

◆対象製品および補助金額

- 太陽光発電システム 1キロワット当たり3万円（上限10万円）
- 高効率給湯器 エコキュート（電気式）1台6万円／エコジョーズ（ガス式）1台3万円／エコフィール（石油式）1台3万円



太陽光発電システム



エコキュート

生ごみ処理容器設置費の一部を補助

◆生ごみ処理容器

- 1世帯2基を限度として、1基当たり購入費の2分の1（3千円を限度）を補助

◆生ごみ減量機器（電気式）

- 1世帯1基とし、購入費の2分の1（2万円を限度）を補助



コンポスト

環境政策課環境企画係（内線109）／金砂郷地域振興課 ☎ 76 - 2111 ／
水府地域振興課 ☎ 85 - 1111 ／里美地域振興課 ☎ 82 - 2111



地球温暖化学習会



星空観察会

未来の環境づくりを皆さんの手で進めるため、町会・市民団体・市内事業所の会員で構成された常陸太田市民環境会議。資源ごみ回収の無料化と23分別回収や小型家電リサイクルの推進、小中学生向けの地球温暖化学習会や星空観察会等を実施しています。また、環境家計簿をつけてご家庭の省エネに役立てたり、エコドライブすることにより環境への関心を高め、美しい地球を子供たちへ引き継ぐ活動を行っています。

常陸太田市民環境会議

未来の子供たちができることを

地球温暖化防止のため、燃やさない工夫をして二酸化炭素排出を抑えましょう



野外焼却

茨城県「不法投棄110番」フリーダイヤル0120・536・380／環境政策課 環境企画係内線109

「野焼き（野外焼却）」は、周囲にお住まいの方々に「悪臭がする」「洗濯物が汚れる」などの迷惑をかけることになるほか、ダイオキシン類の発生源となつて、環境汚染の原因にもなります。さらに、火災につながる危険もありますので、「野焼き」は絶対にやめましょう。（どんと焼き等の地域の行事、稲わら、門松・しめ縄等の焼却等一部例外もあります）

野焼きはやめましょう！

健康スポーツチャレンジデー

5月28日に行われた毎年恒例の「健康スポーツチャレンジデー2014」。今年も大勢の市民の皆さんが楽しく体を動かししました。

市内各地では運動に関するイベントが開催されるなど、家庭や職場での取り組みも合わせて合計2万7765人が参加し（参加率51・9%）、本市の過去最高を記録しました。なお、その参加率を競う徳島県阿波市との対戦では惜しくも敗れました（阿波市の参加率56・7%）。



ラジオ体操教室



陸上競技教室

幼年消防クラブ結団式

市内の幼稚園・保育園には、幼年消防クラブ（15クラブ）が結成されています。市消防本部では、幼年期からの火災予防普及啓発のため、毎年幼年消防クラブ結団式を開催しています。

今年度は、市女性消防団員の協力のもと、火の取扱い上の注意点や火災時の避難方法、服に火が着いた時の消火方法等について言葉だけでなく、寸劇で分かりやすく、楽しく普及に努めました。



市女性消防団員が各幼稚園・保育園を回り指導



久慈川水系連合水防訓練

5月24日、日立市留町地内（久慈川左岸河川敷）において、平成26年度久慈川水系連合水防訓練が実施されました。出水期を控え、水防体制の強化と防災意識の高揚を図るとともに、団体規律の鍛錬と作業能力向上に重点を置いて、日立市・常陸大宮市・東海村・那珂市の久慈川水系水防団（消防団）が参加しました。



水防工法の基本となる土のうを作る作業【土のうごしらえ】



五徳縫い工法等に使う青竹をとがらせる作業【竹とげ】

教職員研修サイエンス講座

今年度、市教育委員会では、小・中学校教員の理科指導力向上を図るため、教職員を対象に「サイエンス講座」を実施しています。

6月5日には久米小で第1回の講座が行われ、市内各校から31人の先生が参加。5年生の理科の授業を参観した後、授業の課題等を話し合い、最後に本講座を指導する茨城大学の五島浩一准教授から、今後の理科教育のあり方等について講話がありました。全5回の研修をとおり、教職員のスキルアップを図っていきます。



理科専任教諭の授業を参観

新しい水道施設が完成

6月14日、「水道事業統合施設整備事業」の完成にあわせ、内田浄水場（内田町）で竣工式が行われました。

この事業は、常陸太田地区の瑞竜浄水場のバックアップ、非常時における安定給水および、金砂郷地区での安定給水に対応するために進められたもので、落合上水取水場、内田浄水場、佐竹配水池、配水管等が完成しました。

内田浄水場では、久慈川から取水した水を浄水し、佐竹配水池まで送水します。施設能力は、1日最大給水量4490立方メートル。計画給水人口は9800人となっています。



災害時には給水拠点として利用される内田浄水場

図書館あかちゃん タイム

6月19日から図書館本館で「あかちゃんタイム」が始まりました。あかちゃんタイムとは、あかちゃん（就学前の乳幼児）と保護者の方に気兼ねなく図書館を利用していただくための優遇タイムです（毎月第1・第3木曜の午前10時30分から正午まで）。これまで利用をためらわれた方も、お気軽に図書館をご利用ください。



あかちゃんと一緒に本に親しむ

鉄造阿弥陀如来立像が特別公開

国の重要文化財への指定が答申された中染町の「鉄造阿弥陀如来立像」が、6月8日、地元の阿弥陀堂で特別公開されました。像は、鎌倉時代に造られたもので高さは164cm、重さ推定300kg。当日は、雨にも関わらず300人ものお客さんが珍しい鉄造りの阿弥陀像を見ようと訪れました。次の公開は、10月18日・19日に行われる集中曝涼（しゅうちゅうりょうばくりよう）市内の文化財を、年に一度虫干しを兼ねて一般公開）のときに公開予定です。



県内の彫刻としては92年ぶりの重要文化財指定

＊おめでとうございます＊

ボランティア連絡協議会に感謝状

東日本大震災において、災害ボランティアアセンタールの立ち上げ・運営に協力し、災害ボランティアの募集など被災者の支援活動に尽力したとして、このほど市太田地区ボランティア連絡協議会が、厚生労働大臣から感謝状を授与されました。



市太田地区ボランティア連絡協議会の皆さん

ソフトテニスで関東選手権大会出場

5月25日、神奈川県横浜市三ツ沢公園テニスコートで行われた、第65回関東ソフトテニス選手権大会シニア女子70歳の部において、八木澤友江さんが3位に入賞しました。



八木澤友江さん（町屋町）

「初めてシニア70歳の部に出場し3位入賞でき、とてもうれしいです。今後も日々の練習に励み優勝できるよう頑張ります」

久米小が文部科学大臣表彰受賞

久米小（梶山豊昌校長）が、平成26年度科学技術分野の文部科学大臣表彰において、創意工夫育成功労学校賞を受賞しました。

この賞は、我が国の科学技術分野において、児童・生徒の創意工夫の育成に顕著な成果をあげた小・中学校を対象として、文部科学省が表彰しているものです。平成26年度は全国で小学校10校・中学校13校が受賞しました。



星空観望会の授業

移動ミュージアム

旬彩レシピ ★ 4

常陸太田の「旬」を感じるレシピを紹介！



今月は シソジュース

材料

赤シソ・・・200g 水・・・1.8L
酢・・・150 cc 砂糖・・・300～400g

レシピ

- ①赤シソをよく水で洗う。
- ②鍋にお湯を沸騰させ、①を入れ、20～30分煮る。
- ③赤シソを取り出し、煮汁をこす。
- ④③を鍋に戻し、砂糖を入れて中火でとろとろ煮る。
- ⑤砂糖が溶けたら酢を入れると煮汁の色が赤く変わるので、すぐに火を止める。
- ⑥味見をして甘味が足りない場合は砂糖を加え、とろ火でさっと溶いて調整する。
※飲むときにガムシロップを足しても良い。
- ⑦水や炭酸水で割って飲む。

真っ赤な色が印象的な天然の夏バテ防止のジュース。たくさんできるシソの葉を摘んで、各家庭で作り、夏の間は毎日飲む家庭も。

▶▶▶ 今月の朝市は 7月20日(日)に市役所駐車場で開催します！ ◀◀◀

vol.16

朝イチnavi

小林和博さん (稲木町)

朝市で学ぶ、人と人との関わりと人情感

朝市では、生産者が販売までを行います。この対面販売では出店当初、お客様への「ありがとう」の言葉が出ずに戸惑いましたが、お客様からの苦言・助言が野菜作りの土壌となることも知りました。還暦からの農業でしたので、市役所の支援（農業講座、栽培講習会等）を受けながら農業を一から勉強しました。野菜は、家庭菜園の延長と考え、農業を極力使わない減農薬野菜にこだわり、無理せず健康で楽しい野菜作りを心がけています。今後も、お客様の目線に立った生産・販売をお届けしたいと考えています。



旬な野菜を販売していますので、ぜひお越しください。



生うどん・生そばは豊かな風味とこしがあります。ぜひご賞味ください。

里美地区の10ヘクタールの農地で、小麦やそばを栽培し、生産から加工を行っています。主に、朝市では、「生うどん・生そば」を販売しています。うどんには、製麺適性に優れる小麦「きぬの波」を使用しています。他の小麦よりツルツルとした食感があり粘弾性や滑らかさに優れています。また、そばは、香り、味わいに優れている「常陸秋そば」を栽培しています。どちらも生産から加工までこだわり作り上げた商品ですので、ぜひご賞味ください。



新鮮な農産物等で毎回好評の常陸太田朝市。魅力ある商品を発信する出店者の方々を紹介していきます。
圖販売流通対策課（内線663）

里美観光農園（大町）

生産から加工までこだわった商品



大里1町・2町

地域に看板を立てましょう

大里1町・2町では、エコミュージアム活動として、わがまち地元学事業（お宝さがし・将来像マップ作成）に取り組み、その成果を報告する発表会や大里町内を楽しくハイキングする行事などを行いました。5月31日、地域の方や子供たちが70人ほど参加して、地域の貴重なお宝の整備や保全のため、13枚の看板を4班に分かれて設置しました。きっと、子供たちが大きくなったとき、自慢のお宝となることでしょう。参加した方たちは、「エコミュージアム活動を始めてから地域への愛着が強くなった」、「今後も楽しく住みよいまちづくりの活動をしていきたい」と話していました。



大里ふれあいセンターに全員集合



さあ、外れないようにボルトを締めて



看板を持って記念撮影



この辺は化石や土器が見つかるよ



馬頭観音って知ってる？



看板を設置しましたので大里町へ遊びに来てください



森の精「うっじい」

ちよつと寄り道

今月は下高倉町第1



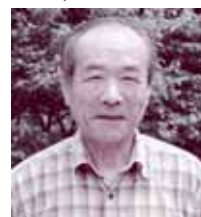
高倉交流センター



四坪地区平集落からの竜神大吊橋の眺め

旧高倉村の中心には、小・中学校がありました。現在は、小学校だけが残り高倉交流センターとなっています。校庭は、地域のグラウンドゴルフ愛好家の人達の交流の場となっています。歴史と伝統ある本校を卒業し活躍されている諸先輩も大勢いらっしゃいます。また、下高倉町は、県道33号線沿いに馬次、畑仲、下武生、四坪と4集落があり、四季折々の自然美は本当にすばらしい光景です。竜神峡や武生神社方面へのハイキングコースもあり、四坪地区平集落からの竜神大吊橋の眺めは格別です。

来月は、「倉」つながりで、郷倉をもつ東染町さんをお願いします。



紹介者

下高倉町第1
細谷臣一さん

HITACHIOTA ARTIST IN RESIDENCE

常陸太田アーティスト・イン・レジデンス

地域おこし協力隊事業の一環として昨年10月から開始された「常陸太田アーティスト・イン・レジデンス」では、芸術家が各地区に移住をして創作活動を行っています。地域の皆さんと関わりながら、アーティストそれぞれが新たな表現を追究します。移住アーティストは、各地域に住みながら、地区を飛び越え、常陸太田全体で芸術活動を行います。自己表現のみにとどまらず、教育機関や大人向けイベントでのワークショップや市内外、県外の方々やアーティストと連携し、より多くの方に常陸太田に足を運んでいただけるような仕組みづくりも行っています。



山吹運動公園内・親水公園の休憩スペース ヒタチオオタ壁画完成!!!

水府地区移住アーティストの林友深とミヤタユキによる壁画が完成しました。場所は、山吹運動公園内の親水公園休憩スペース（旧プール管理棟1階）の1室。常陸太田・金砂郷・水府・里美の4地区をそれぞれイメージしました。常陸太田市の広い空、光、風、空気、壮大な自然。その中で広がる豊かな生活。ゆっくりとした時間の流れ。そんなことを想いながら描きました。子どもの目線に、たくさんの常陸太田らしさが広がっています。創造力が膨らんで自分もラクガキしたくなってしまうような、そんな空間になりました。新しくなった親水公園休憩スペースで、ぜひ、カラフルな壁画をご覧ください!!!



サニサンまつりに出店しました!

6月14日、里山ホテルときわ路で開催された『里山サニサンまつり2014』で、なるの作品展示・販売、ミヤタユキの「水府コイノボリプロジェクト」ワークショップを行いました。市内



外からお越しいただいた多くの参加者に、アートに触れてもらい大盛況の1日になりました!

各支所にアトリエができました!

アートやアーティストが地域の皆さんにとって、もっと身近になれるよう水府・里美支所にアトリエができました。水府支所は3階スペース。里美支所は西側の2階です。支所が開いている時間は、誰でも自由に入ることができます。アーティスト不在の場合も、各アーティストの作品を観ることができます。地域の皆さんと交流できるような仕組みを考えています。次号では、新しく動き出した各アトリエをご紹介します。

壁画制作や再生商品開発、パッケージデザイン、イベントへの参加等、市内各地で様々な活動をしています。市民の皆さんと関わりながら、芸術に特化した楽しく深みのある活動をしていきたいと思っています。アーティストへのお問い合わせは、常陸太田市役所政策企画部少子化・人口減少対策課までお願いいたします。tel 0294-72-3111 (内線 314・346) fax 0294-72-3002 ホームページ: hitachiota-air.com FB ページ: facebook.com/air.hitachiota



地域おこし協力隊がゆく

大学生の種まき



茨城大学では、今年も「さとみ・あい」という学生チームが結成され、里美で地域おこし活動を行っています。

6月8日には学生10人が里美を訪れ、「根岸のため池」や「猿喰のケヤキ」など、里美の名所を巡って里川町に入りました。里川町では地域の方にご指導をいただき、里川カボチャの種まきをしました。里美の地域資源をより深く知るために、在来種である里川カボチャの栽培を学生たち自身で行っています。その後は里美の古民家「荒蒔邸」に移動して、これからの里美での活動方針を固めるための打ち合わせを行いました。

今後も地域の皆様にご協力をいただきながら、学生の視点を生かした里美のPRや、里美をより元気な地域にするための活動に取り組んでいきます。



奥久慈トレイルと地域おこし



6月1日、水府地区～大子町間の山林などを走る「第6回 OSJ 奥久慈トレイルレース」が行われました。参加者は50kmコースで約570人中200人完走、30kmコースで293人中275人完走という、厳しい大会でした。

そんな中、赤岩・持方・寺入地区周辺の方々がエイドステーションを運営し、選手達をもてなしました。私は赤岩でお手伝い。地域の方が自主的にお金を出し合い、飲み物、フルーツ類、トマト、おこわ、臨時の水道を敷いて被り水まで用意し、さらに手作りの押し花メッセージカードも配布しました。

過去の赤岩の評判を知っている選手達からは、「赤岩をゴールにしていました」「来年も必ず来ます」といった声も。改めてこの大会開催による自主エイドの運営が、素晴らしい地域の活性化になっていると実感しました。



3年目も発見の連続



協力隊になり1年目は、稲の手植えの方法とそば打ちの工程を覚え、2年目には、けんちん汁のさまざまな種類を教えてください作れるようになり、うどん打ちの工程を覚えました。

そして、3年目の今年は、地域の方にお声掛けいただき、孟宗竹と破竹のタケノコ掘りと茶摘みの体験を行いました。

これらはすべて、地域の方が築いてきた知恵であり、貴重な地域資源であると感じます。

地域のことや、その作業形態になった理由などを話しながら一緒に作業することで、学ぶことはたくさんあります。

この経験や学びを、地域内外へより深く、分かりやすく、身近に感じてもらえるように情報発信していきたいと思っています。



複合型交流拠点施設（道の駅）の建設が始まります

平成 25 年 5 月に策定した基本計画の方針に基づく基本設計（全体配置計画、建築物の規模、形状など）が平成 26 年 3 月に完了しました。

この基本設計に基づき、今年度は、実施設計および造成工事に着手し、平成 28 年 7 月オープン（予定）に向けて取り組んでいきます。

問販売流通対策課 拠点施設整備係（内線 661）



完成予想図（イメージ）

- 建設地：常陸太田市下河合町
（国道 349 号バイパス沿い）
- 面積：約 2.2 ヘクタール
- 施設規模：約 1,500 ㎡
- 駐車台数：小型車約 220 台・大型車約 13 台
- 総事業費：約 11.5 億円



施設の規模は、約 1,500 ㎡で、情報物産館 50 ㎡、直売所 300 ㎡、レストラン 260 ㎡、フードコート 200 ㎡、加工施設 70 ㎡、体験交流室 80 ㎡、トイレ 130 ㎡、その他の共有部分が 410 ㎡程度となります。

駐車場等の一部を茨城県が道路利用者の休憩施設（駐車場）として整備します。

総事業費の財源については、国庫補助金 3.2 億円（農林水産省の農山漁村活性化プロジェクト支援交付金）と合併特例債 6.8 億円を活用します。市の実質負担額は、一般財源（0.5 億円）と合併特例債の償還金実質負担額（2.1 億円）と合わせて約 2.6 億円となります。

	H26 年度	H27 年度	H28 年度
主なスケジュール	実施設計 造成工事 7 月～	建築工事 外構工事	H28 年 7 月
	三セク設立準備 検討委員会	発起人会 設立総会	★オープン予定
	直売所出荷者組織立上準備・募集等		
		道の駅名称募集・登録	

今年の 7 月下旬から造成工事に着手し、平成 27 年 6 月からは、建設工事や外構工事を進め、平成 28 年 3 月の工事完成を目指します。

管理運営については、第三セクター設立準備検討委員会を設置し、関係団体等からの意見等を取りまとめ経営計画（案）を策定していきます。また、直売所における直売所出荷者組織の立上に向け、説明会や関係団体と協議を行い、出荷者募集について早期に進めていきます。